



せつぶん ゆらい 節分の由来

せつぶん
節分とは、「春夏秋冬」、季節の分かれ目の事です。もっとも大事な一年の始まりは「春」。
はる はじ りっしゅん ぜんじつ せつぶん はじ あたら いちねん ふこう
その春の始まりが立春で、その前日を節分として、「これから始まる、新しい一年が、不幸
わづわ な とし ねが こ まめ
や災いが無い年になりますように」との願いを込めて、豆をまきます。

ではなぜ、せつぶん まめ
節分に豆まきをするのでしょうか？

「鬼=魔」と考え、「魔(ま)を滅(め)つする」という言葉から、豆をまくようになりました。
せつぶん まめ わるもの おに お はら じしん たいふう びょうき わるもの お
節分で豆をまいて、悪者の鬼を追い払うと、地震、台風、病気などの悪者をおうちから追い
だ 出すことができます。これを『じゃき 邪気をはらう』といいます。鬼がでて行くと、代わりに幸運や
けんこう ふく まね い
健康などの『福』をおうちに招き入れることができます。

でも鬼というのは、びょうき てんさい やくさい わるもの
でも鬼というのは、病気や天災などの厄災(悪者)だけではありません。
じつ ひと こころ なか おに す がっこう い
実は、人の心の中にも鬼が住んでいます。学校に行きたくないなあ、という「さぼり鬼」。
よわ
弱いもののイジメをしてしまう、「いじめ鬼」。
たいいく さかあ
体育の逆上がりをあきらめてしまう、「あきらめ鬼」。

いろんな鬼がいます。

そんな鬼も、心のなかから追いだすんです。

おに ま つよ き も こ まめ
鬼に負けない、強い気持ちを込めて豆まきをしましょう。

*** まめ まめちしき ひと
豆についての、豆知識を一つ***

まめ い だいす
豆は「煎った大豆」でなければなりません。これは、なぜかというと

なま まめ め で ま め で
生の豆は、そこから芽が出てきます。「魔」から目が出てくるという

ことで、大変、縁起が悪いとされています。

せつぶん い だいす
節分には「煎った大豆」をまきましょう！

